







災害って思ったより身近かも

右の写真は、

能登半島地震での避難所の様子、 また、平成24年の南部豪雨時に 城陽市内で浸水が

あったときの被害の様子です。

突然の災害時、ひとりでは 困難な状況に陥るかもしれません。 日頃から地域との繋がりをもつ ことは、災害時の備えとなります。





自治会ってそもそも何なの?

自治会とは、同じ地域に暮らす人々が、 地域の課題解決や災害時の備え、 協力しあって住みよい地域にすることを

目的に結成された、自主的な住民組織です。

自治会に関するご相談やお問い合わせは、 お気軽に市民活動支援課までどうぞ!

> 自治会の魅力や 入り方はウラ面へ。 ぜひご覧ください!





るには

平日に市役所にはなかなか行けない!そんな方もご安心。 専用フォームから入力いただくと、自治会長に取り次ぎます◎ 左の二次元コードまたは下記のURLからアクセスできます。











PCの

https://logoform.jp/form/T3Py/517265 もしくは「城陽市 自治会 入り方」で検索!

市民活動支援課に きいてみるのも◎



「自治会ってなに?」「自分の自治会がわからない…」 自治会のこと、なんでもご相談ください。

市民活動支援課の職員が、あなたのお住まいの地域の 自治会との橋渡しを行います。

こんな質問 よくあります

自治会って いったい何を しているの? やっぱり 入った方が いいのかな… 共働きだから 時間がないけど 大丈夫ですか

は治金のすごいとこ

「いざという時」 に備える

災害時における自治会の役割は重要で す。安否確認や避難所での暮らしは、顔 見知りの方が当然スムーズです。

能登半島地震では、孤立状態となり救援 や支援の手が届かない中でも、地域やご 近所さん同士をよく知っているからこそ の助け合いが多くあるそうです。

POINT 2

まちをキレイに 気持ちよく

防犯パトロールや清掃活動など、暮らし やすいまちづくりは自治会によって整え られています。

ごみステーションや防犯灯の管理など、 普段の生活に欠かせない環境作りは、そ れぞれの協力が必要です。

っこもすごりぞ自治会

環境が悪化すると、モラルが低下 し悪循環を引き起こす…という 「割れ窓理論」。割れた窓やごみ のポイ捨てなどが放置される状態 は、犯罪につながりやすくなると いう考え方です。自治会の「目」 や日頃の気づきは、安心なまちを 守っているんです!

本庁舎1階 入ってすぐ左

城陽市役所 市民環境部 市民活動支援課

0774-56-4001

shiminkatsudo@city.joyo.lg.jp 二次元コードからもメールできます

